

## 恩原高原スキー場開き

12月22日(土)、恩原高原スキー場で今季のスキー場開きが行われ、関係者など約50人が集まり、安全と繁栄を祈願しました。パノラマゲレンデ「クリスタルパレス」内で神事が執り行われ、山崎町長や各団体・地区の関係者の代表が玉串を捧げました。

また、スキー場開きにあたり、山崎町長から「このシーズンから恩原高原スキー場が岡山県ジュニアチームの練習場に指定されました。岡山県が誇るスキー場でありますので、皆様方とともに大切に、子々孫々と子どもたちの育成のために利用できる素晴らしい施設にしていきたいと思えます」と挨拶がありました。

今年は積雪の無いスキー場開きとなりましたが、神事終了後には、スキー場開きを祝う餅投げも行われました。



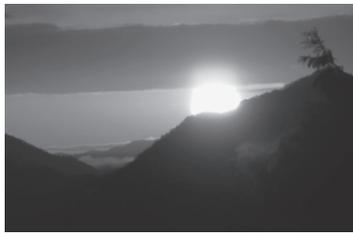
## 初日の出を拝む集い

1月1日(火)、下原にある城山山頂の目崎城跡で、目崎城跡保存会が主催する初日の出を拝む集いが開催されました。

この会は、薪森原・下原の方たちが中心となって平成9年から荒天の年以外は毎年行われており、今年は約40名が集まりました。

今年は前日までの雪で開催が心配されていましたが、当日は好天に恵まれ、午前7時17分ごろ綺麗な初日の出を拝むことができました。

初日の出に向かって恒例の万歳三唱がなされると、参加した方々は良い一年を迎えることができたようでした。



写真提供：目崎城跡保存会顧問 井上 龍一さん

## 無病息災を祈願 郷幼稚園で「どんど」

1月15日(火)、郷幼稚園で正月飾りなどを燃やして無病息災を願う「どんど」が行われ、園児や郷老人会の会員ら約50名が参加しました。毎年この時期に郷幼稚園が郷老人会の協力を得て開催しており、今年で6年目を迎えました。

前日から郷老人会が竹や材木を使って準備したやぐらの中に、園児たちは書き初めや12月に郷老人会の会員に教えてもらいながら作った正月飾りを入れて燃やし、無病息災を願いました。燃やした後の炭を顔に塗ると健康で過ごせると言い伝えられており、小椋園長は「風邪をひきませんように」など声をかけ、今年一年みんなが元気に過ごせるように願いながら、園児一人一人の顔に炭を塗ってあげていました。



「園児たちからいつも元気をもらっている。今年は災害がない幸せな一年になってほしい」と話していました。

郷老人会の藤本信男会長は